

議長 休憩を解いて再開いたします。 (16時25分)

日程第13「産業厚生常任委員会所管事務調査報告」を議題とします。

委員長からの報告を求めます。産業厚生常任委員会委員長 南雲まさ子君。

産業厚生常任委員長 令和5年6月29日、松田町議会議長 飯田一殿。産業厚生常任委員会委員長 南雲まさ子。

産業厚生常任委員会所管事務調査報告書。本委員会で継続審査とした「更なる子育て支援の充実」について調査研究の結果を松田町議会会議規則第76条の規定により次のとおり報告します。

1、調査の件名。「更なる子育て支援の充実」について。

2、調査の目的。現代社会にあって、少子化の進行、核家族世帯や共働き世帯、ひとり親世帯の増加など、子供を取り巻く環境は多様化・複雑化していて、様々な子育て支援策の対応が求められています。そのような状況の中、本町が取り組む子育て支援がさらに進められるように調査研究することとしました。

3、調査の内容。本委員会では「更なる子育て支援の充実」を調査項目として、計14回の委員会を開催し、第2期松田町子ども・子育て支援事業計画、全国の子育て施策の先進事例、子どもの権利条約の調査研究を行いました。また、調査研究の一環として、子育て支援を先進的に取り組んでいる静岡県長泉町に視察に行きました。

4、調査研究のまとめ。本町の子育て支援は、18歳までの小児医療費助成（所得制限なし）、産後ケア・産後家事支援費用の助成、一般不妊治療費・不育治療費の助成（年齢制限・所得制限なし）など、かなり手厚いことが確認できました。これらの子育て支援情報を町内外にしっかり発信していくことが大事ではないかと結論しました。

そして、調査研究を通して本委員会として次のことを提言します。

5、提言。1、子育て支援について分かりやすくするため「子育て支援ガイドブック」を作成。2、チルドレンファーストの町として、「子どもの権利条約」を条例化。3、おむつ替えや授乳の場を提供する「赤ちゃんの駅」の設置。4、県立足柄上病院小児科の初診料の補助。以上です。

なお、御不明な点がありましたら、私のほかにも委員がおりますので、発言することをお許してください。

- 議 長 産業厚生常任委員会委員長の報告が終わりました。これより質疑に入ります。
- 5 番 田 代 1点だけお知らせください。子育て支援を先進的に取り組んでいる静岡県長泉町に視察に行きましたと。一方で、松田のほうはかなり手厚いことが確認できましたと。これは比較してほとんどその先進的な長泉町と同じぐらい松田は先進的だと、このように受け取ってよろしいでしょうか。
- 7 番 南 雲 松田町もかなり長泉町と同じような施策を、子育て施策をやっていますけれども、長泉町ってとても財政が豊かな町なので、すごく、例えば新幹線の通学料補助していたり、そういった部分ではやはり、あと、そうですね、おじいちゃんファッションショーとか、またそういった何か優しい部分もありまして、松田町でも長泉町でやっていないようなこともやっておりますけれども、またそういった部分で参考になることがたくさんありました。以上です。
- 5 番 田 代 結構です。ありがとうございました。
- 議 長 ほかにございますか。この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。以上で報告を終わります。